



こんにちは日本共産党です ハ千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

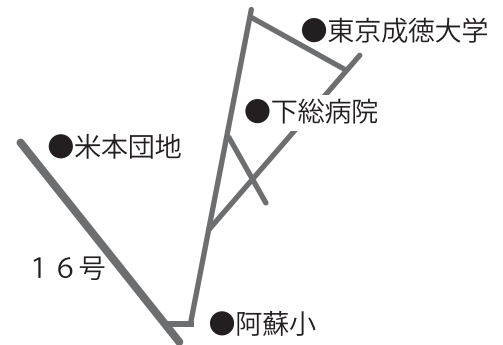


第388号
2018年11月5日
発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

大学とのセット開発に暗雲立ち込める

八千代市は住宅団地発祥の地と言われています。八千代台団地にはじまり、市内には住宅都市整備公団や企業による団地づくりが行われ、東京のベッドタウンとして人口が増え続け、現在、19万8千人（県内7番目）となっています。

また大学とのセット開発法に基づいて、大学町（八千代国際大学、現秀明大学）、もえぎ野カルチャータウン（東京成徳大学）がつくられました。しかし、どちらも都市計画が思うように進んでいないのが現状です。



住宅地から物流施設などに方向転換

もえぎ野のカルチャータウンは平成4年に事業認可され、平成5年から東京成徳大学が開校しています。大成建設が800戸の良好な住宅地づくりを進めてきました。緑豊かな環境に囲まれ大学も誘致され、文化的な環境の中で子育てができるという期待で引っ越してきた人も少なくありません。ところが、一向に住宅は増えず、商店もなし、コミュニティ施設もできていません。「だまされた」という声が上がっています。

そんな中大成建設は今年、住民に当初計画の変更説明を行ないました。県道八千代宗像線の西側については、住宅400戸（計画の半分に縮小）の建設を進めるが、東側（27ha）は商業施設・公益施設・物流施設・倉庫用地・バス営業所用地にするという都市計画案の説明です。

カルチャータウンが当初の計画と大きく様変わりすることは明らかで、一緒に進めてきた八千代市の責任も問われます。

住民の声を受け止めた都市計画を

今年、東京成徳大学の大学祭のパンフレットに、学長のメッセージとして、「翠樟祭は今年で最後になるかもしれません」とありました。東京成徳大学が移転し、他の大学の進出がなければ、八千代市の大学とのセット開発は失敗ということになりかねません。

また、物流センターの建設も予定されています。緑が丘西地域では、農地を提供した人が「住宅地になるといわれたのに、物流センターによる大きな倉庫群がつくられるという、裏切られた」と、言っています

都市計画は、住民の意見を尊重して、知事・市長に決定・変更できる権限があり、だからこそ地域住民のための都市計画を行うべきです。